

ソフトウェア情報学研究科

修士論文

[学位論文が満たすべき水準]

修士論文は次に定める「学位論文の評価基準」に基づき評価されると共に、当該専門分野の発表会・審査委員会で学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的かつ明快に応答すること。

[審査委員の体制]

修士論文の審査は、主査1名、副査2名以上の修士論文審査委員会を設置し、審査委員会の合議で行う。なお、審査委員会の構成員は本研究科委員会の教員とする。

[審査の方法]

修士論文の審査は、予備審査および学位審査の2度の審査会における研究発表および質疑により行われ、2度の審査の双方に合格した者を合格とする。

[学位論文の評価基準]

次に定める「学位論文の評価項目」すべてが満たされていると認められるものを合格とする。

[学位論文の評価項目]

1. テーマの妥当性・有用性(研究領域に関する問題にとりくんでいるか、実学実践の観点から問題をとらえているか)
2. テーマの新規性(問題解決方法の提案を行っているか、新たな知見を含んでいるか)
3. 手法の信頼性(問題に対し適切な手法を用いているか)
4. 内容の信頼性(システムの実現可能性に対する検証を行っているか、評価は適切か)
5. 論理の構成(結論まで首尾一貫した論旨になっているか)
6. 論文の形式・体裁(語句・文章表現は論文として適切か、論文の体裁は整っているか)
7. 研究倫理面の配慮(研究倫理面の配慮が適切かつ十分になされているか)

ソフトウェア情報学研究科

博士論文

[学位論文が満たすべき水準]

博士論文は次に定める「学位論文の評価基準」に基づき評価されると共に、当該専門分野の発表会・審査委員会で学術研究に相応しい研究発表を行い、質疑に対し論理的かつ明快に応答すること。

[審査委員の体制]

博士論文の審査は、主査1名、副査2名以上の博士論文審査委員会を設置し、審査委員会の合議で行う。なお、審査委員会の構成員は本研究科委員会の教員とする。

[審査の方法]

博士論文の審査は、予備審査および学位審査の2度の審査会における研究発表および質疑により行われ、2度の審査の双方に合格した者を合格とする。

[学位論文の評価基準]

次に定める「学位論文の評価項目」すべてが満たされていると認められるものを合格とする。

[学位論文の評価項目]

1. 基礎となる学術論文(学位論文の基礎となる学術論文(学位申請者が筆頭著者)の内容が適切に含まれているか)
2. テーマの妥当性・有用性(研究領域に関する問題にとりくんでいるか、実学実践の観点から問題をとらえているか)
3. テーマの新規性(問題解決方法の提案を行っているか、新たな知見を含んでいるか)
4. 手法の信頼性(問題に対し適切な手法を用いているか)
5. 内容の信頼性(システムの実現可能性に対する検証を行っているか、評価は適切か)
6. 論理の構成(結論まで首尾一貫した論旨になっているか)
7. 論文の形式・体裁(語句・文章表現は論文として適切か、論文の体裁は整っているか)
8. 研究倫理面の配慮(研究倫理面の配慮が適切かつ十分になされているか)